



# 下久堅のたから



飯田市立下久堅小学校  
学校だより No.7  
令和5年9月2日

<http://simosc.ed.iidanet.jp/> 文責:会津

## 天高く馬肥ゆる 立秋の候

### 走った！ 跳んだ！ 魅せた！ そして働いた運動会

残暑が厳しい中ですが、予定通り運動会を実施しました。今年度も一斉に児童が校庭に入場し、お互いの学習の成果をその場で見るができるようにしました。また、学校運営協議会の委員の皆様など、来賓をお招きして子どもの様子をご覧いただき、ご感想やご意見をいただきました。

運動会の歌「ゴーゴーゴー」を元気よく歌い、紅組・白組それぞれの席から自主的に応援の声が聞こえるなど、コロナに負けない子どもたちの生き生きした姿が多く見られました。高学年は係の仕事にも熱心に取り組みました。当日はお忙しい中、子どもたちの学習の成果をご覧いただき、ありがとうございました。



### 「追究の鬼」を育てる

夏休み中に子どもたちがそれぞれ取り組んだ自由研究や工作などが飾られています。「下久堅地区の人口」「お金の歴史」といった社会の分野だけでなく、「血圧」や「心拍数」といった人体に関する研究もありました。「赤ちゃんの成長」、「イヤイヤ期の研究」などは、弟や妹との関係がわかるもので、見ていて心が温かくなりました。興味があることを学校の学習を生かして調べていくという「気づきに基づいた探究的な学び」の成果を通して、普段接していてもわかりにくい、その子の新たな一面が見える気がしました。

郡総合展覧会と関連した校内展を開催して、子どものがんばりと着眼点、構成力や追究力を讃えたいと考えています。



### 実演×ICT×学習カード

1年生の国語の学習「うみのかくれんぼ」では、担任が「自分がタコになったつもりになって教室の中で隠れてみて」と子どもに告げました。人間は服の色に合わせて隠れる場所を見つけますが、今自分が着ている服に合う色が教室にないこともあり、「難しいなあ」と子どもの声。担任は教科書の記述に戻り、人間と逆でタコは周りと同じ色になって体を隠すことを押さえます。さらに学習カードに感想を書いてから電子黒板で動画を見ました。「あっ、本当に色が変わった」と驚きの声が上がりました。

入学して半年、子どもたちは書くことにも慣れてきたようです。昔からの学習方法と新しい時代の学習方法をうまく合わせ、頭と体を使って子どもたちに「落ちる」授業を進めていけたらよいと考えます。





## 10月の予定

- 1日(日) PTA 資源物回収
- 3日(火) 4年校内人形劇公演
- 4日(水) 6年修学旅行①(東京方面)
- 5日(木) 6年修学旅行②(東京方面)
- 6日(金) 6年計画休業
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 視力検査(低)
- 11日(水) 視力検査(高)
- 12日(木) 1年遠足 5年発掘体験
- 13日(金) 小学校教育課程研究協議会のため休業日
- 15日(日) 下久堅地区運動会
- 16日(月) 音楽会ステージ練習開始 1年トロロアオイ収穫  
スクールカウンセラー来校(午前)
- 17日(火) 児童総会(6校時)
- 20日(金) 特別日課3時間授業 来入見検診 13:10~ ※給食あり 12:50下校
- 22日(日) PTA 資源物回収予備日
- 24日(火) 児童会(後期①)
- 28日(土) 開校150周年記念式典・音楽会(午前)  
講演会(午後) ※弁当持参 下校15:00
- 30日(月) 振替休業

### 「結いの日」について 10月15日(日) (毎月第3日曜日)

飯田市をあげての取り組みとして「わが家の結いタイム」(家族と一緒に過ごし心を通わせるひと時)という取組があります。

- ①みんなで話そう スイッチを切って
- ②ずくを出し みんなで お手伝い
- ③ひろげよう 親子の対話 読書から
- ④きもちよい 親子のふれあい あいさつから  
ご家庭での取り組みをお願いします。

開催通知をお配りしました。ぜひ  
ご来校ください。

## お知らせ

### 「スクールカウンセラー相談日について」

来月のスクールカウンセラー来校日時は10月16日(月)の9:30~です。相談を希望される場合は、お気軽に教頭までお知らせください。

### 「PTA 資源物回収について」

10月1日(日)のPTA 資源物回収ですが、今のところプリントでお知らせしたとおりの日程と方法で行う予定です。できる限りご協力いただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。校庭に乗り入れる際には、安全にご配慮ください。

## 日頃の風景から

新体育館の方から楽しそうな声が聞こえてきました。3年生が理科「風やゴムの力」の単元で実験をしているようです。引っ張ったゴムの力でどれだけ長く車を走らせることができるかということを探るのですが、担任は「何が違って、何が同じなのか」を念頭に置くように子どもたちに接していました。条件がピッタリ合った子どもの車は、新体育館の端から端まで届くくらいの長い距離を走っていました。

理科の学習は3年生で「比較」をし、6年生になると法則について仮説を立てて予想する「推論」へと移っていきませんが、入門期では特に実際に動かし、見て感じるという質感がとても大事です。

3年生になり早半年、新しい教科「社会」「理科」「外国語活動」にも慣れてきました。

